

『#工作 黒金星と呼ばれた男』（2018年、ユン・ジョンヒン監督）を amazon prime video で視聴した。北朝鮮に潜入した韓国の工作員「黒金星（Black Venus）」と南北の権力者たちの闘争を描く、実話「北風工作」を基にしたリアリズム重視のスパイ映画。

1992年、北朝鮮の核兵器開発を巡って緊張状態が高まる朝鮮半島。優秀な工作官だった KCIA の PS 少佐は、国家安全企画部に北派工作員としてスカウトされる。PS は CH 海外事業部室長の命令を受け、まずは北朝鮮の情報網の目を誤魔化すべく軍を退役して遊び歩く毎日を送り、自己破産までする身分偽装を行った。

CH 室長は北朝鮮の核開発の重要人物である PC 教授を訪韓させると取引を行い、北朝鮮が相当レベルの核開発を行っていること、核保有の有無は最高権力者であるキム・ジョンイルの直属部隊のトップしか知らないことを聞き出す。PS は CH 室長から、コードネーム Black Venus として、北朝鮮の権力層への接触を通して核開発の実態を探るよう命令を受けた。

北朝鮮との取引を目指す俗な事業家に扮した PS は、北京に渡ると、数年間に渡る慎重な工作活動を行う。やがて、PS は北朝鮮の外貨獲得の責任者である LM 審議所長から信頼を得ることに成功すると、広告事業の仲介をカモフラージュとしつつ北朝鮮の権力層に食い込み、キム・ジョンイルに会う機会を得るまでに至った。

しかし1997年、PS の工作活動があと一步のところまで停滞する中、同年の大統領選挙に際して、政権交代による組織の解体再編を恐れた CH 室長などの国家安全企画部が与党政治家と組み、大統領選を与党有利に進めるために、北緯38度線の停戦ライン周辺で武力攻撃を行うよう北朝鮮と裏取引を行った。これを知った PS は、祖国への忠誠と自身の工作活動の存亡との間で葛藤する。

最終的に PS は、裏取引が南北朝鮮の関係を冷却化するとして反対する LM 所長と協力し、ある事を実行に移す。

派手なアクションよりも心理戦や政治的緊張感に重点を置いている。北朝鮮の豪華な宮殿と飢餓に苦しむ民衆の対比が印象的である。キム・デジュンの韓国大統領選挙と北朝鮮の「北風工作」を絡め、国家と個人の葛藤を描いている。派手なアクションを求める視聴者には不向き。

評価：★★★★☆